

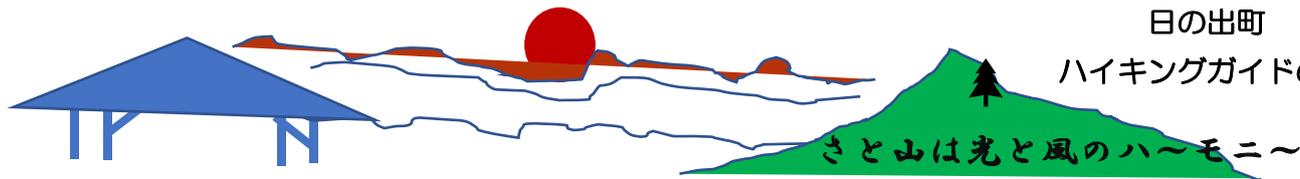
日のハイ通信

# 日の出山

令和6(2024)年  
第5号 1月15日発行

日の出町

ハイキングガイドの会



令和6年元旦 日の出山・麻生山



午前 10 時 00 分 日の出山山麓から麻生山を望む



午前 6 時 52 分ご来光  
(日の出山山頂)



午前 6 時 52 分ご来光を見る登山者  
(四阿前)

11月18日(土) 臼杵山〜ぐみ尾根

ガイド 増澤強

「正月の雲取山登山」

ガイド 富士光男

参加者5名とガイド3名の8名。檜原役場前でトイレを済ませ、清水ガイドによる準備体操後、あきる野方面に5分ほど戻り元郷の登山口から急な登りに入る。この日は前日の放射冷却現象で冷え込みが強く北斜面の登りのため陽射しがほとんどない。最高地点の臼杵山は1000mに満たない山だがこの尾根歩きコースは長い上にアップダウンも多く歩きごたえ十分というのが下見の印象。

臼杵山は五日市駅付近から見ると北と南の端が高く、中央が緩やかに窪んでいる。左右の峰がやや突起状で、この線を結ぶと中央が凹みが臼の断面のように見えることが山名の由来と思われる。杵がなぜ出てくるのか分かる人がいたらぜひ教えていただきたい。「臼杵山山頂碑」はわずかに高い南側にあり北の突起からわずか5分の距離である。臼杵山の南北の突起は見つけやすくその歩行距離と時間を想像してみるのも面白い。



臼杵神社



戸倉菜萁御前

臼杵神社は北側に位置し日の出方面からは右側の突起になる。この神社は繭神様でご神体はオオカミ、大岳山や御岳山とも共通する。この神社にはネコもいるはずだと清水ガイド。それはネコがネズミの天敵で繭のさなぎを食べるのでネズミから繭を守る願掛けからきていると思われる。繭の生産と絹の輸出は幕末・明治以来、日本にとって唯一絶対と言っていいほど重要な輸出品であった。桧原村の人々と繭のつながりはひと際重要だったと想像される。

この山行では下見の段階でグミ尾根コースにスズメバチが巣をつくっているとの情報があった。当日の18日以前の冷え込みで2, 3回霜が降りていたことからハチはもういないだろうとも想像できた。考えたことは行って見てスズメバチがぶんぶん飛んでいるようなら引き返し、荷田子に下山することとする。幸いなことに1匹のハチにも出会わず最後まで歩き通すことができたのはラッキーであった。 2

正月恒例の雲取山登山は50歳の誕生日に一念発起してから続けている。夜明けと同時に小袖登山口から歩き始め夕方暗くなるまでに戻ってくる所謂日帰り登山である。

今日6日は土曜日とあって午前6時過ぎには登山者らしき車が数十台それぞれ思い思いに登山準備を始めている。マジックアワーを待ちかねて出発。この時間帯、勿論クマ鈴は欠かせない。



ここ丹波山村には地域おこし協力隊が現地調査をし、平将門が逃げ延びた道を追体験できるよう、登山口からブナ坂まで10箇所に迷走ルートの看板を設置。これを読みながら登ると疲れも癒やされる。



ブナ坂で石尾根縦走路の開放的な防火帯に合流。間もなく出迎えてくれるのがカラマツの『見返り美人』(ダンシングツリー)である。ここからは丹沢山塊から富士山そして南アルプスの遠望など、山好きの面々には山座同定に余念がない。今回も栃木県から雲取山への日帰り登山に訪れた若者と頂上まで偶然同行することとなり山頂までの約2時間が瞬く間に過ぎた。山頂に到着すると一等三角点の隣に国内



では3箇所しか現存していないと云われる原三角点(明治15年設置)が出迎えてくれた。時刻は11:50であった。

山頂では奥秩父の山々越しに八ヶ岳の主峰赤岳までもが姿を見せ、和名倉山・浅間山から東寄りに目をやると、天目山や川苔山・本仁田山など見慣れた奥多摩三山やスカイツリーなど関東平野の市街地も、この時期でなければみられないクリアな景色を堪能できた。



帰路は七ツ石小屋に寄り新年の挨拶、また、雲取山頂に午前中に到着した褒美としてお汁粉を戴き、朝登った道を堂所から太陽との競争さながら小袖登山口へ。帰着は17:00丁度であった。

今年もハットライトの助けを借りずに日帰り登山が出来た。皆さんと山登りが続けられそうである。

野鳥の森の風景が変わるようです。

会長 石川 剛

昨年まだ暑い時期に出会った町の担当者の方や涼しくなってお会いした工事の下見に来た方の話では、昨年12月から本年2月までの工期で、立ち枯れたコナラの伐採と景観を損なわないような伐採をするそうです。

見積の下見に来た方から（東光院の裏で二頭の熊を見た。）と聞き遂に野鳥の森でも熊ですかと、その後は熊鈴を付けて歩いています。

今は、宮本古道と平成新道と尾根の間に主にヒサカキが伐採されて所によっては何処か違う所へ来たように明るくなりました。

⑩の近くで昨年マムシが居着いた付近のテーブルとベンチも作り変えるそうです。

伐採された木の側で落ちた小鳥の巣を見ました、動物への影響が気になります。

令和5年11月9日、の五日市駅—まいまい坂—幸神尾根—深沢山—勝峰山—シダレアカシデのハイキングコースで、日の出友の会会員の箱山正憲さんが読んだ短歌を紹介します。

### 短歌紹介

<まいまい坂にて>

秩父事件の激戦地なるこの坂の歴史の重み感じ  
てのぼる

<幸神尾根にて>

山道で地味に咲いてるカンアオイ花はこれよと  
言うこともなく

<屋根付きゲートボウル場にて>

晩秋の大久野駅の跡地にてゲートボウルの音響く

### 『友の会の皆さんと歩いて感じた事とお願い』

回を重ねるごとに山の安全に対する意識の変化を感じます、装備や非常食、地形図やコンパスの事を聞かれる事も度々です。

お願いですが、雨具はもちろん、ハットランプ、レスキューシート、ホッカイロ、等は何時でもザックの隅に入れておいて下さい。

### 歴史散歩 御嶽山への道

現在、御嶽神社への道は北側にケーブルカーで上がる表参道コースと大樽峠御岳山コース（裏参道ともいう）、南側には日の出山南西尾根コース、養沢鍾乳洞コース、金毘羅尾根コースそれに滝本尾根コースがある。この表参道は江戸時代以前の古い時代には北御坂道と呼ばれ、一方南側に位置する大久野や上養沢からの道を南御坂道と呼んでいた。表参道と滝本尾根コースの両登山口には滝本の地名がある。（奥多摩登山詳細図 東編）青梅側には滝本駅から滝本川を渡ると昭和10年の大鳥居があり、右手に沢から引いた滝が架かる。御祓滝とよばれ、ここで垢離をとって身を清め鳥居からの険路の急坂に進んだ。一方日の出側には桑の木沢登り口に滝本不動尊がありやはり禊が行われていたのではと想像される。



滝本参道入口



養沢コース石段

青梅側には江戸時代初期に植えられたというスギの巨木が標高差400mを超えて参道に立ち並び、昼なお暗い鬱蒼とした森に数百年の時を超えるスギの霊気と古代人の喘ぎを感じるのも頷ける。さらに、所々に置かれた「うまたてば」「ろくろくくび」「おおまがり」「なかみせ」「だんご堂」「じゅうやくぼ」「だいこくのお」「あんまがえし」「やまのかみ」「くろもん」の案内板の説明を読むことで思いは過去に飛ぶ。

大久野や上養沢には江戸期を遙かに遡る歴史道の過去があると思われる。それは日の出町に残る「みたけみち」を示す石道標の数の多さが示している。又養沢鍾乳洞コースに見られるしっかりと積まれた石段の道はいかにも参道と感じられる。奈良時代の初め役行者を始祖とした山岳信仰が盛んな時代に養沢道は良く利用されたとある。（「五日市町の古道と地名」から）

※かつて養沢鍾乳洞には養沢鍾乳洞山荘があり、料金を取って内部を公開していた。小さな鍾乳洞であるが中に祠がある。

## 「友の会」関連行事の紹介

ここでは、令和6年2月から5月にかけて日の出町ハイキングガイドの会が主催するハイキングと登山について紹介いたします。

ハイキングは概ね半日程度の里山歩きから始め月に一回程平日に予定。また、登山についてはハイキングよりも標高差や距離がやや長めで休日に設定してあります。(歩程時間：休憩時間を除くおおよその目安です。)

どちらも日の出友の会会員の皆様から、先着順で受け、定員に達し次第締切ります。早めにお申込みください。令和6年6月以降の計画については「日のハイ通信」6号(4月頃発行)に掲載予定です。

### I. ハイキング(事前申し込み制)

#### ◎2/29(木) 慈勝寺～浅間岳～羽村堤

JR 東秋留駅前 8:00 集合

コース 東秋留駅…慈勝寺…草花神社…大澄山…浅間岳…羽村神社…羽村郷土博物館…羽村堤…まいまいず井戸…羽村駅 (歩程約5時間)

#### ◎3/21(木) 天覧山～多峯主山

JR 東飯能駅前 8:10 集合

コース 東飯能駅…能仁寺…天覧山…多峯主山…御岳八幡神社…吾妻峡…飯能駅(歩程約6時間)

#### ◎4/11(木) 金比羅山～山抱きの大榎～千年の契り杉

JR 武蔵五日市駅前 8:00 集合

コース 五日市駅…金比羅山…山抱きの大榎…千年の契り杉…武蔵五日市駅 (歩程約5時間)



#### ◎5/9(木) 日連アルプス

JR 藤野駅前 8:00 集合

コース 藤野駅…金剛山…鉢岡山…日連山…宝山…相模湖駅 (歩程約5時間)

### II. 登山(事前申し込み制)

#### ◎2/25(日) 榎峠～雷電山～辛垣城址

JR 軍畑駅前 8:00 集合

コース 軍畑駅…榎峠…雷電山…辛垣城址…青梅駅 (歩程約6時間)

#### ◎3/31(日) 石老山～大明神

JR 相模湖駅前 8:25 集合

コース 相模湖駅＝石老山入口…顕鏡寺…石老山…大明神山…嵐山…相模湖駅 (歩程約7時間)

#### ◎4/21(日) 奥多摩湖～御前山 (健脚向き)

JR 奥多摩駅前 7:50 集合

コース 奥多摩駅＝奥多摩湖…惣岳山…御前山…柗寄…奥多摩駅 (歩程約7時間)

#### ◎5/19(日) 大岳山～サルギ尾根 (健脚向き)

JR 武蔵五日市駅前 8:10 集合

コース 武蔵五日市駅＝大岳鍾乳洞入口…大岳山…上高岩山…養沢神社＝武蔵五日市駅 (歩程約8時間)

### III. 申し込み後のキャンセルについて

申し込み締め切り後、催行予定の概ね一週間前迄には、申込者に参加の可否についてお知らせ致します。申し込み後、何らかの理由で止むを得ず参加出来なくなった場合には、その旨速やかに連絡願います。交通機関のダイヤ改正等により集合時刻の変更があれば、参加申込者に連絡します。

### IV. 日の出友の会への入会・継続について

本欄掲載の行事にご参加戴くためには、まず『日の出友の会』への入会手続きが必要です。

また、4月からは新年度となりますので、引き続き会員資格を希望される方は新たに年会費 ¥1,000.-の納入をお願い致します。

詳細は下記にお問合せ下さい。

Email : [try.tie7@outlook.jp](mailto:try.tie7@outlook.jp)

日の出町ハイキングガイドの会  
会長 石川剛 宛

### V. 日のハイ通信バックナンバーについて

右の二次元コードからこの5号をはじめ、いままでに発行済みの「日のハイ通信」を、カラー版で閲覧可能です。

